

報道関係各位

2014年7月28日

“科学教育”に注力した 工学院大学の社会貢献活動が高く評価 — 先導的推進者の矢ヶ崎教授が「文部科学大臣賞」を受賞 —

学校法人工学院大学は、「若者の理科離れ」や「科学教育の危機」といわれる日本の局面に向き合い、本学が独自に構築した“新しい教育システム”としての科学教育振興事業を進めてきました。科学イベントでの大学生・大学院生の支援参画も加え、学外学内を問わない科学教育活動を展開しています。

この活動が評価を得ることとなり、システムの構築を主導し活動を推進してきた矢ヶ崎隆義教授（工学部環境エネルギー化学科）が、関東工学教育協会より協会賞・業績賞を授与。さらに『文部科学大臣賞』の受賞が決定しました。

工学院大学の科学教育活動は、日本の子ども達の未来を見据えています

創立以来 127 年にわたり蓄積してきた工科系大学ならではの科学教育ノウハウをベースに、本学が取り組んできた科学教育面における社会貢献活動。目的としているのは「青少年の理科・科学への興味喚起による日本の科学教育の振興」です。

現在、活動をすすめる科学教育センターでは、11 の事業を展開しており、科学教育の振興に努めています。

>>科学教育センター <http://www.kogakuin.ac.jp/kogakuin/structure/organisation/scenter>

《 展開する 11 の事業 》

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| 1.中・高大院連携事業 | 7.科学教育関連事業の展開に関わる認証・顕彰事業 |
| 2.フレンドシップ事業 | 8.スーパーサイエンスティチャー(SST)養成講座開講事業 |
| 3.わくわくサイエンス祭科学教室開催事業 | 9.科学教育に関わる機器の収集と整備、展示事業 |
| 4.自治体及び教育委員会等からの要請に基づく
出張科学教室開催事業 | 10.科学教材の開発出版事業 |
| 5.自治体サイエンス施設支援事業 | 11.科学教育番組等の監修・支援事業 |
| 6.科学教育に関わる講座、講演、研究会等開催事業 | |

大学生・大学院生も社会貢献事業に支援参加。ここに教育的波及効果があります

科学教育センターでは、小・中・高等学校の科学教育の振興に的を絞った活動を積極的に推進しています。科学イベントなどの事業では本学大学生・大学院生が支援参画しており、イベント支援で子ども達とふれあう体験は、学生達の大きな学習効果につながっています。

大人気のイベント “わくわくサイエンス祭 科学教室” — 今年の夏も開催

今や八王子の夏の定番。「科学教室」が今年も開催されます。すでに 21 回目を数える“科学イベント「科学教室」”では、毎年多くの小中学生がサイエンス体験を楽しみに来場しています。(昨年度来場数 約 8,800 人)

～ここからはじまる! 科学者への第一歩!～「わくわくサイエンス祭 科学教室」開催

日時:2014年 8月23日24日 10:00～16:00

場所:工学院大学八王子キャンパス、附属中学校・附属高等学校キャンパス

<本件に関するお問い合わせ>	学校法人工学院大学 科学教育センター 担当:山口・田中 TEL:03-3340-2438/FAX:03-3340-3549/e-mail:ksec@sc.kogakuin.ac.jp
<取材に関するお問い合わせ>	学校法人工学院大学 総合企画部広報課 担当:佐野・塩谷 TEL:03-3340-1498/FAX:03-3340-1648/e-mail:gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp